

海外生活 エッセー

ニューヨーク事務所

IT をフル活用、アメリカのセミナーや会議

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所 所長補佐 伊藤 かおり (滋賀県派遣)

アメリカでの勤務を通して、現地のセミナーや会議へ参加させていただく機会が多くあるのですが、毎回、いろいろな場面でITが活用され、とても効率よく運営されていると感じます。アメリカで普及しているセミナーや会議でのIT活用事例についてご紹介します。

→ セミナーに会議室は必要ない?!

アメリカではウェブとセミナーを組み合わせた「ウェビナー」と言われるオンライン上で受講できるセミナーがとても普及しています。



USJETAA (JET 経験者の会全米組織) によるウェビナー

ネット環境と、PC、スマートフォンまたはタブレット端末さえあれば、参加者は、専用のソフトウェアをダウンロードし、指定の時間にURLにアクセスするだけで、どこでも簡単にセミナーに参加することができます。

リアルタイムで実施されるライブ配信形式が一般的で、画面に表示されたパワーポイント資料等を元に、講師が解説をしながら進めます。参加者は電話やチャット機能を利用し、その場で直接講師に質問することが可能です。また、セミナーの内容は録画され、後日HPで公開される例が多く、当日参加できなかった場合や、聞き逃した部分があった場合などにも後から内容を見直したり、資料をダウンロードすることもできます。

数十人から数百人という大勢の人数でも同時に参加することができ、途中参加や途中退場も自由にできます。また、場所を問わないため、幅広い地域の人々を対象とした研修や説明会などに活用されています。

→ 会議専用アプリを活用

何千人もの出席者が集まり、数日にわたり開催される年次総会のような大規模な会議では、その会議専用のアプリが立ち上げられます。参加者は、各自のスマートフォンやタブレット端末に会議のアプリをダウンロードすることにより、会議のプログラムの確認、登壇者や参加者の情報の検索、会議資料の閲覧、開催地周辺情報や地図の検索などが可能です。



全米知事会サマーミーティング専用アプリ

また、自分が出席したい内容をマークしておくことで、その予定がカレンダーに反映され、予定の変更があった場合には通知を受け取ることもでき、会議中のスケジュール管理が簡単にできます。

メッセージ機能を使えば、参加者リストに載っている人たちと気軽に連絡を取ることも可能です。さらには、Facebook、Twitter、Instagramなどのソーシャルメディアともリンクしており、会議の写真や情報を各参加者が会議のページに投稿することにより、広く共有することができます。このように、多くの機能が備わった会議アプリは、非常に便利なツールとなっています。

セミナーや会議は、開催する側、参加する側にとって大変労力と時間のかかるものですが、このようにITを積極的に活用すれば、時間や費用を削減し、より効率的で有意義な会議を開催することができるのではと思います。